

団体リーグ戦 規定

加盟登録

1. 大会申込み締切日までに連盟加盟登録を行ってください。
2. 申込み締切後のメンバー変更は、連盟に加盟登録が済んでいない選手はメンバー変更ができません。
3. 加盟登録の方法は春日井市卓球連盟のHP [「加盟募集」](#) に記してあります。

チーム編成

1. 同一団体のメンバーで4～6人で構成してください。
2. 同一団体で複数のチームが団体戦にエントリーも可能です。
※選手の重複エントリーはできません。
3. 個人登録や他団体との混成チームでもかまいませんが、男女混成チームは認められません。
 - ・高校生・大学生(大学院生を含む。以下同じ)のチームに一般登録した選手が含まれる場合は「一般」として扱う。
 - ・高校生のチームには、当該高校の参加全チームで顧問・コーチの参加を1名まで認め、「高校生扱い」とする。

参加費

参加費については、HP「加盟募集」の大会参加費欄をご参照のうえ、ご納入ください。

- ・高校生・大学生のチームに一般登録の選手が含まれる(あるいはその逆)場合は、「一般」として扱います。
- ・高校生チームに顧問・コーチが含まれる場合は、「高校生」の参加費が適用されます。

チーム名について

1. 原則として「加盟団体名」をチーム名としてください。
 - ・同一団体で複数のチームをエントリーする場合は、「登録団体名〇〇」、「登録団体名□□」などとしてください。
 - ・個人登録や他団体との混成チーム名は、既存の団体名と重複しないチーム名としてください。
2. 次回以降も、基本的には同じチーム名で申し込みを行ってください。
チーム名を変更して次回出場する場合は「チームの継続性」に従い、「チーム名変更」と明記してください。
※高校生からなるチームについてはこの限りではありません。

チームの継続性

1. 前回大会の登録メンバーが半数残っている場合は、現状の部で出場できます。
(半数:4人の場合2人、5人の場合3人、6人の場合3人)
 - ・高校生のチームは、当該高校の参加全チームで顧問・コーチの参加を1名認め、前回の登録メンバー半数を必要としません。
 - ・高校生または大学生からなるチームについては、以下のいずれかに該当する場合を除き、前回の登録メンバーに関わらず現状の部で出場できます。
【例外（前回の登録メンバー半数が必要なケース）】
 - ・高校生・大学生のチームに一般加盟登録した選手が含まれる場合
 - ・大学生チームに、大学生ではない顧問・コーチ・教職員スタッフ・OB/OGが含まれる場合
2. 上記1.の例外に該当するチーム、または高校生・大学生チーム以外のチームで、前回の登録メンバーが半数残っていなければ、新チームとして最下位部でのエントリーとなります。
3. 前回エントリーしていないチームは最下位部となります。
なお、登録メンバーとは、エントリー時あるいはメンバー変更後のメンバーを指します。

申込み締切後のメンバー変更

試合当日の開会式まで「棄権・変更・追加届」を提出してください。

1. 棄権等でメンバーが4人未満の場合

- ・ 他チームからの移動は、チーム人数が4名となるまで移動が可能です。
- ・ 大会にエントリーしていない選手で、追加は3名まで可能です。

2. メンバーが4名以上いる場合

- ・ 他チームからの移動はできません。
- ・ 大会にエントリーしていない選手で、追加は3名まで可能です。

※当該期の団体リーグ戦に最初に申込を行った時点でのメンバーが3人以上残っている必要があります。

※変更するメンバーは、申込み締切日までに連盟加盟している必要があります。

試合方法について

1. 原則として、1リーグ5チーム(1チーム4～6名)のランク別リーグ戦とします。

※参加チーム数により下部リーグのチーム数を調整することがあります。

2. 1団体戦は、男女とも1試合1ダブルス4シングルの個人戦を行い、3つの個人戦を先に勝利したチームが勝利チームであり、それ以外は負けとします。

3. 1番ダブルス(1D)、2番以降はシングルス(2S～5S)の順で行い、すべて11ポイント・5ゲームズマッチを行います。

※1Dに出場した選手は、2Sには出場できません。

※2S～5Sでは、同一選手の重複出場はできません。

棄権の取り扱いについて

1. 団体戦の棄権について

- ・ 事前に登録された選手のうちで、その団体戦に出場する選手(少なくとも4人)全員が条件を満たしたゼッケンを着用して試合開始前の整列ができる状態の時に、そのチームは団体戦が開始できる状態とします。団体戦が開始できる状態にならないチームはその団体戦を棄権したものとします。
 - ・ 団体戦が棄権となったときに、そのチームは団体戦のスコアを0-3で、すべてのゲーム・すべてのポイントも失い、負けたものとします。
 - ・ 対戦する双方のチームが棄権となったときは、双方のチームとも団体戦のスコアを0-0で、すべてのゲーム・すべてのポイントを失い、負けたものとする。
- ※ 対戦相手の承諾を得てオープン試合をすることができる。

【例】

- ・ 団体戦開始時に選手が3人しかいないチームは、その団体戦は棄権になります。その後の試合で4人以上揃えば、その試合は有効で、棄権にはなりません。
- ・ 4人で組んでいるチームのうちの1人が2回目の団体戦終了後、急用で欠けてしまい3人になってしまった時、そのチームの2回目までの団体戦の成績は有効です。3回目の団体戦は棄権の扱いになります。4回目の試合開始時に戻ってくればその試合は有効です。

2. 個人戦の棄権について

団体戦開始後については各個人戦ごとに棄権を与えます。

各個人戦で棄権のあったとき、棄権者は棄権したとき以降のその個人戦のすべてのゲーム、すべてのポイントを失うものとします。棄権以前のその棄権者がその試合で得たゲームや得点はすべて有効です。

【例】

- ・ 3Sにオーダーされた選手が、気分が悪くなり3Sの試合ができないときは、3Sの試合が棄権となり、0-3(0-11,0-11,0-11)で負になります。このチームがもともと4人で組んでいて3Sの選手を除くと3人になってしまう状況でも

チームが団体戦を棄権となることはありません。この選手が次の団体戦に出場することはできます。

- ・1Dと5Sにオーダーされた選手が、1Dで第1ゲームを11-4で先取した後、第2ゲームを10-4で勝っていたと時にけがで棄権した時は、1Dは1-3(11-4,10-12,0-11,0-11)で負けになります。その後4Sの試合まで終了し、団体戦のスコアが2-2になった時、この選手が試合に出場可能ならば出場してもかまいません。棄権の場合は5Sの試合を0-3(0-11,0-11,0-11)で失うこととなります。

オーダーミスの処理について

1. 試合前(整列時)

オーダーミスをしたその個人戦のみ負けとなります。

但し、対戦相手チームが修正を認めた場合は試合を行うことができます。

2. 試合中に発覚

間違いとなる個人戦のポイントは全て間違えたチームが失うとします。

間違いとなる個人戦が終了していても、団体戦が終了していない限り適用されるものとします。

3. 試合後に発覚

その団体戦はすべて有効とします。

※団体戦は双方のチームが整列、団体戦の試合結果にサインをしたときに終了するものとします。

順番を間違えてオーダーと異なる選手が出場したとき

・ 試合中に発覚

当該個人戦を無効とし、改めて正規の個人戦を行います。

・ 試合後に発覚

その団体戦のスコアはすべて有効とします。

リーグ戦内の順位付けについて

1. リーグ戦で勝点の最も多いチームを優勝とする。(勝2、負1、棄権0)

2. 2チーム以上の勝点が同一の場合は、

当該チーム同士のマッチの勝率、ゲーム、ポイントの順で順位を決定します。

部の昇格

1. 2部以下の各部の優勝チームは、自動的に1ランク上がります。

2. 各部の最下位チームは、1ランク下がります。(次回、不参加チームにより繰り上げで降格しない場合があります。)

3. 不参加のチームの処置について

・ 参加料納入チーム：1ランク降格します。

・ 参加料未納チーム：原則最下位部に降格となります。

4. 試合終了後上記の規定により次回のランクを決定します。

服装

1. 卓球メーカーのユニフォーム着用。ユニフォームは揃っていない場合でもかまいません。

2. ゼッケンはエントリーしたチーム名のものを使用してください。

※ゼッケンをお持ちでない場合は、本部で購入できます。